
NOLTYスコラ 探究プログラム

進路編

指導書

目次

指導ポイント

どのような力を育てるかを確認する……………	2
進路編 先生向け評価ルーブリック……………	3
年間カリキュラム……………	4
総合的な探究の時間の指導ポイント……………	5
全国高校生プレゼン甲子園……………	6

授業の手引き

授業 1：5年後の仕事を考える……………	P7
授業 2：就職先を調査……………	P10
授業 3：文献で情報収集（仕事）……………	P13
授業 4：進学先を調査……………	P16
授業 5：文献で情報収集（進学）……………	P19
授業 6：志望動機／理由書をまとめる……………	P22
授業 7：クリティカルシンキング……………	P25

NOLTYスコラ 探究プログラム （以下本プログラム）に込めた想い

私たちは中高生時代に『なぜ学ぶのか』を理解し切れていたでしょうか。

受験のため、進路のためなのではないかと理解するようにしていたかもしれません。しかし、社会に出て働くことで学ぶことの本当の『価値』が何であるのかを実感することができたと思います。

社会に出ると必ず結果を求められます。結果を出すためには自分の能力を向上させることが必要となります。それには継続的に情報を収集し続け、情報を理解・分析し、自分なりに解釈する、このような主体的・能動的に学び続ける力が必要となります。

私たちは本プログラムを経験した子供たちに『主体性』を身に付け、力を発揮する人材になってほしいと願っています。それは物事の大小を問わずやってみようとする、あるいはチャレンジしてみることで。

これからの社会は VUCA（予測不能）時代と言われています。生徒たちの将来にはさまざまな問題が起こるでしょう。そのような時に自らの学びを通して、自らの未来を切り開いていける、そのような人材になるための支援をし続けるため、本プログラムを開発いたしました。

総合的な探究の時間で どのような力を育てるかを確認する

総合的な探究の時間の授業が始まる前に、指導に関わる先生たちで目的や目標を共有することが最初のステップとなります。学習指導要領の目標と学校の教育目標、現在の生徒の様子から、学校ごとに総合的な探究の時間で身に付けさせたい資質・能力を設定してください。

学習指導要領における総合的な探究の時間の目標

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

【総合的な探究の時間編】高等学校学習指導要領より

①学校の教育目標・重点目標

②現状の生徒の様子

③生徒にこんな力を身に付けてほしいという先生の想い

④生徒にどのような力を身に付けさせるか目標を設定する

⑤本プログラムが設定している「社会に出たときに必要な力」です。上記の身に付けさせたい力が含まれるものをご確認ください。次のページに評価ルーブリックがあります。

発想力	多様な視点でアイデアを発想すること	目的創造	どんな物事にも価値を創り出し、目的とすること
クリティカルシンキング	物事に対して疑問の目で見ること	相互作用	自身や他者同士が影響し合うこと
思考力	得た知識を他の物事に応用すること	他者理解	他者を否定せずに理解すること
好奇心	さまざまな事柄に興味や関心を持つこと	発信力	内外に向けて他者に響くように発信すること
共感力	他者に共感すること		

学習評価の仕方を共有します。

生徒が「何ができるようになったか」で評価します。達成度や基準は次ページの評価ルーブリックを参考にしてください。

⑥校内で連携する教科や校外連携の組織がある場合に共有します。

校内：

校外：

図書室、パソコン室、情報授業、数学授業、家庭科授業、市役所、商工会、OBOG 等

進路編 先生向け評価ルーブリック

先生が評価する際の指標としてお使いください。

	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5
観点	ほとんどできていない	少しだけできている	できている	言語化やアウトプットまでできる	他のことに活用したり、チームために活用したりすることができる
発想力	物事や事象をより良くするための方法やアイデアを考えない	物事や事象をより良くするためのアイデアを考えようとしている	物事や事象をより良くするための抽象的な方法やアイデアを考えようとしている	物事や事象をより良くするための具体的な方法やアイデアを考えようとしている	物事や事象をより良くするための具体的な方法やアイデアと計画まで立てることができる
クリティカルシンキング	物事に対して疑問の目で見ようとしない	物事に対して自分の視点で疑問の目で見ようとする	物事に対して他者の視点で疑問の目で見ようとする	物事に対して疑問の目で見て、それらを言語化、アウトプット化できている	物事に対して疑問の目で見て、それらを他のことにも応用している
思考力	得た知識を特に活用することをしていない	得た知識を自身の探究活動に生かす	得た知識をチームの活動の中で生かすことができる	得た知識を課題解決の視点で他のことに応用したり生かしたりすることができる	得た知識を探究活動に限らず課題解決の視点で他のことに応用したり生かしたりすることができる
好奇心	様々な事柄に興味や関心を持っていない	様々な事柄に興味や関心を持つことができる	様々な事柄に深く興味や関心を持つことができる	様々な事柄に深く興味や関心を持ち、それらを言語化している	様々な事柄に深く興味や関心を持ち、それらを他のことに生かしている
共感力	他者の気持ちを汲んだり寄り添ったりしない	時々他者の気持ちを汲んで寄り添うことができる	常に他者の気持ちを汲んで寄り添うことができる	他者の気持ちを汲んで寄り添う時には言動にしている	本授業に限らず他者の気持ちを汲んで寄り添っている
目的創造	物事に価値を見いだそうとしない	物事に価値を見いだし、自分の目的とする	物事に価値を見いだし、自分と他者の目的とする	物事に価値を見いだし、その目的をチームに働きかけようとしている	どんな物事に価値を見いだし、目的を創り出すことができる
相互作用	チームの一員として全くチームに貢献しようとしていない	チームの一員として時々チームに貢献しようとしている	チームの一員として常にチームに貢献しようとしている	チームの一員として貢献しようとしている	本授業に限らずチームの一員として貢献しようとしている
他者理解	他者の言動の背景を理解しようとしていない	他者の言動の背景を理解しようとする	他者の言動の背景を常に理解しようとする	他者の言動の背景を理解し、時には言動に表れている	本授業に限らず他者の言動の背景を理解し、それが言動に表れている
発信力	内外に向けて自分のアイデアや意見を発信していない	内外に向けて自分のアイデアや意見を発信しようとしている	自分のアイデアや意見が他者に響くよう工夫して発信している	自分のアイデアや意見が他者に響くよう工夫して発信し、議論や協働につなげている	本授業に限らず他者に響くよう工夫して発信し、議論や協働につなげている

生徒の取り組み状況や様子、貴校の教育目標に合わせてご活用ください。 例) レベル 5 は難しいのでレベル 4 までの 4 段階評価で行う、など

年間カリキュラム

のりしろ

このページでは年間の授業カリキュラムを書いてください。
学校で立てたカリキュラムがすでにある場合はプリントを貼ってください。

年間の授業回数 _____

授業 予定日	授業 回数	テーマ	活動内容	授業用 スライド
		5年後の仕事を考える	興味のある仕事か5年後どのような変化をしているかウェブページを使って調べる。	第1回目
		就職先を調査	前回調べたものをペアで発表。興味のある就職先を三つ調べる。	第2回目
		文献で情報収集(仕事)	前回調べたものをペアで発表。持ってきた文献を要約する。	第3回目
		進学先を調査	前回要約した文章をペアに発表。興味のある進学先を三つ調べる。	第4回目
		文献で情報収集(進学)	前回調べたものをペアで発表。自分が持ってきた文献を要約する。	第5回目
		志望動機/理由書を まとめる	前回要約した文章をペアに発表。これまでやってきた活動振り返りながら志望動機を作成する。	第6回目
		クリティカルシンキング	クリティカルシンキングを学ぶ。ペアの書いた文章にツッコミを入れていく。	第7回目

総合的な探究の時間の指導ポイント

1 先生同士で話し合いや振り返りの場面を設けます。

初期導入時) 学校の目標、育てたい資質・能力、年間計画を話し合います。

2 アクティブラーニング形式で行います。

アクティブラーニングには、「各教科」で知識をしっかりと理解する目的で行うものと、「総合的な探究の時間」や「特別活動」で資質・能力を育成する目的で行うものの2種類があります。生徒がインプットしたことを自分なりにまとめアウトプットできるようワークシートを使い「1人で考える時間」と話し合う「ペアワークの時間」が設定されています。スライドの流れに沿って進めてください。

3 生徒の思考や行動の変化を評価します。

「探究」と聞くと指導に不安を感じる先生もいらっしゃるかもしれませんが。しかし先生の日常を振り返れば、学校運営、部活動、授業運営など、どれも唯一の正解があるものではなく、仮説を立てて行うものではないでしょうか。それこそ探究であり、探究で育てる問題発見・課題解決の力です。指導する上で生徒からの質問に先生が答えを持っていない場合（あるいは持っていたとしても）は生徒に「先生に聞いても分からないよ。どうしたらいいと思う？ 他の人はどうしてる？」「なぜそう考えたの？」などなるべく質問で返してください。

評価を行う際も「発表」や「成果物」の出来栄をを目指すよりも生徒の思考や行動がどのように変化したかを評価します。指導書には評価のルーブリックがついていますので参考にしてください。



監修者紹介

ながさわ よしのり
長澤 佳則 氏

N.E.Lab 教育コンサルタント/
起業家育成アドバイザー

- ・東京大学 ディベロップメントオフィス 職員
- ・元 千葉日本大学第一中学高等学校 教諭
- ・一般社団法人プレゼンテーション協会 所属
- ・英語検定 1 級 (資格)
- ・京都大学 学校経営ディレクター (資格)
- ・NOLTY スコラ 探究プログラム (基本編、地域・旅行探究編、MyBiz 編、進路編) 監修執筆

＝探究に携わる先生へメッセージ＝

2022 年度から高校で「総合的な探究の時間」がカリキュラム化されることとなり、多くの学校が新しいことへの期待感を抱くと同時に、学校としてどういったことをやっていくべきか悩まれたことかと思えます。

私も教員の時に探究の委員長を務めていましたが、「総合的な探究の時間」が生徒にとって深い学びとなるように、どうしたらよいかということを試行錯誤しておりました。

教材を監修するにあたり、大切にすることが三つあります。

- 一つ目が、生徒が自分事として取り組めること。
- 二つ目が、生徒の進路実現に役立つこと。
- 三つ目が、先生方が生徒の活動を見てわくわくできること。

生徒一人ひとりが自身の生活に根ざした探究学習をしていくことで、彼らの人生がより良いものとなっていくはずです。このような探究学習を NOLTY スコラ探究プログラムがサポートします。



探究プログラムの発表の場として 「全国高校生プレゼン甲子園」に チャレンジしませんか。

全国高校生プレゼン甲子園は、テーマについて深く考察し、自分の考えや念い^{おも}を「伝える」ことで、論理的思考力、表現力、創造力等を養うとともに、互いの発表を通して、総合的なプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的として開催します。

※最新情報や詳細は
公式 HP でご確認ください。

主催

全国高校生プレゼン
甲子園実行委員会

プレゼン甲子園 検索

審査基準

- ① テーマに対する考察、根拠、論理性、独創性
- ② メッセージの伝わりやすさ、構成
- ③ 印象的かつ効果的なスライド等のビジュアル
- ④ 話し方、訴求力、説得力
- ⑤ 質疑応答における対応力 (一次審査を除く)

応募方法

- ① プレゼン資料作成…………… テーマを研究し、プレゼンの構成を考える
- ② 動画を撮影…………… プレゼンテーションを動画で撮影する
- ③ 応募フォームからアップロード…………… 応募フォームに必要事項を記入し、データをアップする

大会 スケジュール

応募期間 (予選動画提出)

令和7年5月下旬から6月上旬

2次審査

令和7年7月上旬

決勝大会

令和7年8月下旬
於：福井県福井市

授業 1：5年後の仕事を考える

興味のある業種の5年後の未来を考えてみましょう。

授業の手引き

授業予定日	授業回数

準備物

指導書 授業用スライド 探究ノート PC やタブレット

授業のねらい

- ・興味のある業種の未来を考えて、そこから逆算をして自らの進路を考えられるようにする

留意点

授業用スライドは NOLTY プランナーズのホームページ「導入校向けデータベース」よりダウンロードしてください。

生徒の様子や先生の想いに応じて授業用スライドは加工・編集が可能です。

ノートの各記入例は p35 以降にございます。

授業の流れ

学習の内容	時間	探究ノートのページ
進路選択の考え方とは	10分	p 3
未来の仕事を考える	35分	p 4



本日の授業の内容はこのとおりです。



これは進路選択の考え方の例です。

皆さんにはすでに興味関心がある業種はありますか。

教育、美容、医療、エンジニアなどさまざまな業種がありますが、皆さんが興味関心ある業種の5年後の未来を考えてみましょう。

例えばウェブページで、「医療 5年後」と調べてみると、医療現場が未来ではどうなっているかという記事がたくさんでできます。

極端なことを言うと、診察はすべてAIが行うということになるかもしれません。

未来のことを的確に予想することは難しいですが、どのように変化していく可能性があるのかを知っておく必要はあります。

それを知ったうえで、興味ある業界で自分の知っている会社、または有名な大手企業を調べます。

またさらに大学や専門学校へ進学を考えている人は、就職先のことを意識したうえで学部や学科を調べていきます。

このように未来から逆算して進路を考えることで、解像度の高い志望動機 / 理由書が書けるようになります。



4ページを開いてください。

ここでは皆さんが興味ある仕事の未来について考えていきます。

ネットを使って「今どのように変化しているか」を調べて、さらに5年後はどうなっているのかをネットで調べたり、

想像力を働かせて書いてみてください。5年後に固定せずに、3年後や10年後などで大丈夫です。

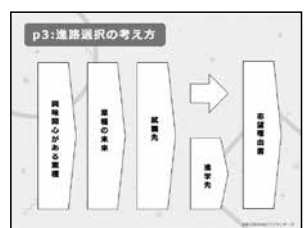


35ページにこのような記入例があります。

記入例を参考にして、自分の興味ある仕事について調べてください。

次回ペアで発表し、ランダムで当たった人2名にクラスの前で発表してもらいます。

スライド





次回の授業では、4ページに書いてきたことを発表してもらいます。
まだ完成できてない人は宿題として完成させてきてください。

※NOLTYプランナーズ

授業 2：就職先を調査

興味のある就職先を調べてみましょう。

授業の手引き

授業予定日	授業回数

準備物

指導書 授業用スライド 探究ノート PC やタブレット

授業のねらい

- ・興味のある就職先を調査することで、その業務内容まで理解できるようにする

留意点

授業用スライドは NOLTY プランナーズのホームページ「導入校向けデータベース」よりダウンロードしてください。

生徒の様子や先生の想いに応じて授業用スライドは加工・編集が可能です。

ノートの各記入例は p35 以降にございます。

授業の流れ

学習の内容	時間	探究ノートのページ
ペアで発表	10分	p 4
2名のみクラス発表	10分	p 4
興味のある就職先を調べる	25分	p 5～10



本日の授業の内容はこのとおりです。



調べたことを、ペアで発表をしてもらいます。

1人2分間発表をして、その後2分間、聞き手と話し手で質疑応答を続けてください。

探究活動をする上で、この聞き手の質問は非常に重要です。どんなことでもいいので質問をし続けてください。

聞き手の質問によって、話し手の探究活動の質は向上していきます。

それではじゃんけんをしてください。

勝った方が最初の話し手で、2分間発表をして、3分間質問に対して答えてください。

合計で5分たったら、今度は最初聞き手であった人が話し手になります。

また、ペアでの発表後に、ランダムで当たった2名の生徒にクラス全体に向けて発表をもらいます。

それではペアでの発表を始めていきますので準備をしてください。



それではランダムであたった2名のの人に発表をしてもらいましょう。

〇〇さん宜しくお願い致します。

ありがとうございました。

続いて〇〇さん宜しくお願い致します。



5ページから10ページでは、皆さんが興味ある就職先について調べてもらいます。

調べる項目は、スライドに書かれているものです。

基本的には企業のホームページに行けば、これらの情報は書いてありますので、ホームページを見るようにしてください。

「企業の5年後を予想」については、皆さんが想像力を働かせて記入するようにしてください。

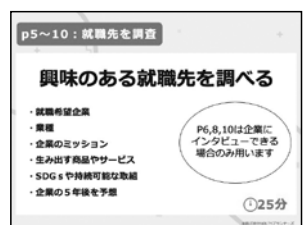
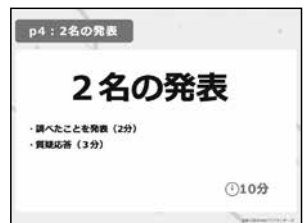
また、6、8、10ページは企業にインタビューできる時のみ使えるものです。

インタビューできない場合は飛ばしてください。

就職先は最低二つは調べるようにしてください。

それでは25分間調べてください。

スライド

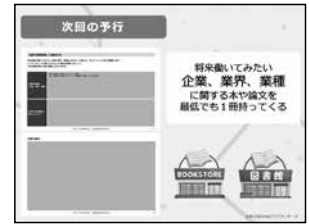




次回の授業では、調べたものを発表した後に、文献で情報収集して要約をします。

将来働いてみたい企業、業界、業種に関する本や論文をウェブページで調べていきます。

本を用意する場合は、図書館で借りるまたは本屋さんで購入して次回の授業で持ってきてください。



授業3：文献で情報収集（仕事）

将来働いてみたい企業や業界、業種などを文献で調べてみましょう。

授業の手引き

授業予定日	授業回数

準備物

指導書 授業用スライド 探究ノート PC やタブレット

授業のねらい

- ・ 情報を書籍や論文等の文献で調べることで、より具体的にイメージしやすくなる

留意点

授業用スライドは NOLTY プランナーズのホームページ「導入校向けデータベース」よりダウンロードしてください。

生徒の様子や先生の想いに応じて授業用スライドは加工・編集が可能です。

ノートの各記入例は p35 以降にございます。

授業の流れ

学習の内容	時間	探究ノートのページ
ペアで発表	10分	p 5 ~ 10
2名のみクラス発表	10分	p 5 ~ 10
文献で情報収集	25分	p 11 ~ 12



本日の授業の内容はこのとおりです。



調べたことを、ペアで発表をしてもらいます。

1人2分間発表をして、その後3分間、聞き手と話し手で質疑応答を続けてください。

興味ある就職先をいくつか調べてきたと思いますが、一つに絞って発表するようにしてください。

探究活動をする上で、この聞き手の質問は非常に重要です。どんなことでもいいので質問をし続けてください。

聞き手の質問によって、話し手の探究活動の質は向上していきます。

それではじゃんけんをしてください。

勝った方が最初の話し手で、2分間発表をして、3分間質問に対して答えてください。

合計で6分たったら、今度は最初聞き手であった人が話し手になります。

また、ペアでの発表後に、ランダムで当たった2名の生徒にクラス全体に向けて発表してもらいます。それではペアでの発表を始めていきますので準備をしてください。



それではランダムであたった2名のの人に発表をしてもらいましょう。

〇〇さん宜しくお願い致します。

ありがとうございました。

続いて〇〇さん宜しくお願い致します。



今回の授業では、文献で情報を収集し、要約を行います。

皆さん書籍をもってきていますよね。

もし忘れた人はウェブページで業界や業種に関して調べるようにしてください。

11ページの上の段には、本に関する情報を書いてください。

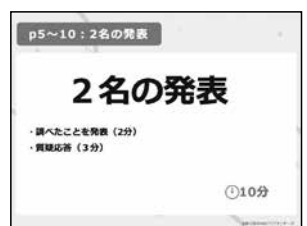
本の場合は、著者名、発行年、タイトル、出版社。

論文の場合は著者名、発行年、タイトル、掲載雑誌、掲載ページ、発行者、を書いてください。

12ページで要約を書きますが、さらに短くした形でその文献の内容を上段に書くようにしてください。

下の段には、皆さんがその文献を選んだ理由を書いてください。

スライド





続いて 12 ページでは、文献の要約を書くようにしてください。
もちろん何百ページと書かれてあるものを 800 字程度にまとめるので、
書籍のすべての部分を網羅することは難しいです。
特に興味深いと感じた部分を中心にまとめるようにしてください。
この授業内に終わらないと思いますので、その場合は次回の授業までに
書いてきてください。
次回の授業でも発表は行います。



授業 4：進学先を調査

興味のある進学先を調べてみましょう。

授業の手引き

授業予定日	授業回数

準備物

指導書 授業用スライド 探究ノート PC やタブレット

授業のねらい

- ・興味のある進学先を調査することで、進学後の学びをイメージしやすくする

留意点

授業用スライドは NOLTY プランナーズのホームページ「導入校向けデータベース」よりダウンロードしてください。

生徒の様子や先生の想いに応じて授業用スライドは加工・編集が可能です。

ノートの各記入例は p35 以降にございます。

授業の流れ

学習の内容	時間	探究ノートのページ
ペアで発表	10分	p 11 ~ 12
2名のみクラス発表	10分	p 11 ~ 12
興味のある進学先を調べる	25分	p 13 ~ 18



本日の授業の内容はこのとおりです。



調べたことを、ペアで発表をしてもらいます。

1人2分間発表をして、その後3分間、聞き手と話し手で質疑応答を続けてください。

探究活動をする上で、この聞き手の質問は非常に重要です。どんなことでもいいので質問をし続けてください。

聞き手の質問によって、話し手の探究活動の質は向上していきます。

それではじゃんけんをしてください。

勝った方が最初の話し手で、2分間発表をして、3分間質問に対して答えてください。

合計で5分たったら、今度は最初聞き手であった人が話し手になります。

また、ペアでの発表後に、ランダムで当たった2名の生徒にクラス全体に向けて発表をもらいます。

それではペアでの発表を始めていきますので準備をしてください。



それではランダムであたった2名のの人に発表をしてもらいましょう。

〇〇さん宜しくお願い致します。

ありがとうございました。

続いて〇〇さん宜しくお願い致します。



13ページから18ページでは、皆さんが興味ある進学先について調べてもらいます。

調べる項目は、スライドに書かれているものです。

基本的には大学や専門学校のホームページに行けば、これらの情報は書いてありますので、ホームページを見るようにしてください。

「そこで学んだことを将来にどう生かすか」については、皆さんが想像力を働かせて記入するようにしてください。

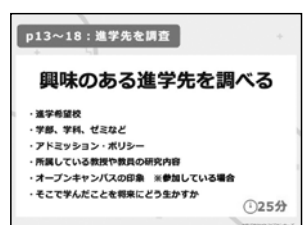
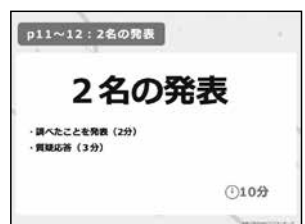
また、「オープンキャンパスの印象」はオープンキャンパスに参加する時のみ使えるものです。

参加できない場合は飛ばしてください。

進学先は最低二つは調べるようにしてください。

それでは25分間調べてください。

スライド





次回の授業では、調べたものを発表した後に、文献で情報収集して要約をします。

自分の希望進学先に所属している教授や教員の文献から一つ選んで調べていきます。

本を用意する場合は、図書館で借りるまたは本屋さんで購入して次回の授業に持ってきてください。



授業 5：文献で情報収集（進学）

自分の希望進学先に所属している教授や教員の文献を調べてみましょう。

授業の手引き

授業予定日	授業回数

準備物

指導書 授業用スライド 探究ノート PC やタブレット

授業のねらい

・希望進学先の教授や教員の文献を調べることで、進学先での学びをより具体的にイメージしやすくなる

留意点

授業用スライドは NOLTY プランナーズのホームページ「導入校向けデータベース」よりダウンロードしてください。

生徒の様子や先生の想いに応じて授業用スライドは加工・編集が可能です。

ノートの各記入例は p35 以降にございます。

授業の流れ

学習の内容	時間	探究ノートのページ
ペアで発表	10分	p 13～18
2名のみクラス発表	10分	p 13～18
文献で情報収集	25分	p 19～20



本日の授業の内容はこのとおりです。



調べたことを、ペアで発表をしてもらいます。

1人2分間発表をして、その後3分間、聞き手と話し手で質疑応答を続けてください。

興味ある進学先をいくつか調べてきたと思いますが、一つに絞って発表するようにしてください。

探究活動をする上で、この聞き手の質問は非常に重要です。どんなことでもいいので質問をし続けてください。

聞き手の質問によって、話し手の探究活動の質は向上していきます。

それではじゃんけんをしてください。

勝った方が最初の話し手で、2分間発表をして、3分間質問に対して答えてください。

合計で5分たったら、今度は最初聞き手であった人が話し手になります。

また、ペアでの発表後に、ランダムで当たった2名の生徒にクラス全体に向けて発表してもらいます。それではペアでの発表を始めていきますので準備をしてください。



それではランダムであたった2名のの人に発表をしてもらいましょう。

〇〇さん宜しくお願い致します。

ありがとうございました。

続いて〇〇さん宜しくお願い致します。



今回の授業では、文献で情報を収集し、要約を行います。

皆さん書籍をもってきていますよね。

もし忘れた人はウェブページで教授や教員の論文を調べるようにしてください。

19ページの上の段には、文献の情報を書いてください。

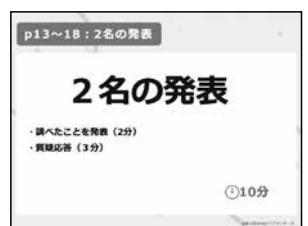
本の場合は、著者名、発行年、タイトル、出版社。

論文の場合は著者名、発行年、タイトル、掲載雑誌、掲載ページ、発行者、を書いてください。

20ページで要約を書きますが、さらに短くした形でその文献の内容を上段に書くようにしてください。

下の段には、皆さんがその文献を選んだ理由を書いてください。

スライド





続いて 20 ページでは、文献の要約を書くようにしてください。
もちろん何百ページと書かれてあるものを 800 字程度にまとめるので、
書籍のすべての部分を網羅することは難しいです。
特に興味深いと感じた部分を中心にまとめるようにしてください。
この授業内に終わらないと思いますので、その場合は次回の授業までに
書いてきてください。
次回の授業でも発表は行います。



授業 6：志望動機／理由書をまとめる

希望する進路先に対する志望動機／理由書をまとめてみましょう。

授業の手引き

授業予定日	授業回数

準備物

指導書 授業用スライド 探究ノート PC やタブレット

授業のねらい

- ・志望動機／理由書で書くべきことを学ぶ

留意点

授業用スライドは NOLTY プランナーズのホームページ「導入校向けデータベース」よりダウンロードしてください。

生徒の様子や先生の想いに応じて授業用スライドは加工・編集が可能です。

ノートの各記入例は p35 以降にございます。

授業の流れ

学習の内容	時間	探究ノートのページ
ペアで発表	10分	p 19～20
2名のみクラス発表	10分	p 19～20
志望動機／理由書をまとめる	25分	就職希望者 p 21～25 進学希望者 p 28～32



本日の授業の内容はこのとおりです。



調べたことを、ペアで発表をしてもらいます。

1人2分間発表をして、その後3分間、聞き手と話し手で質疑応答を続けてください。

探究活動をする上で、この聞き手の質問は非常に重要です。どんなことでもいいので質問をし続けてください。

聞き手の質問によって、話し手の探究活動の質は向上していきます。

それではじゃんけんをしてください。

勝った方が最初の話し手で、2分間発表をして、3分間質問に対して答えてください。

合計で5分たったら、今度は最初聞き手であった人が話し手になります。

また、ペアでの発表後に、ランダムで当たった2名の生徒にクラス全体に向けて発表をもらいます。

それではペアでの発表を始めていきますので準備をしてください。



それではランダムであたった2名のの人に発表をしてもらいましょう。

〇〇さん宜しくお願い致します。

ありがとうございました。

続いて〇〇さん宜しくお願い致します。



次に志望動機／理由書を皆さんにまとめていってもらいます。

これまでのワークで、皆さんには希望する進路先の情報を調べてもらいました。

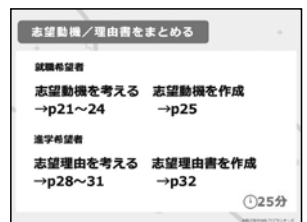
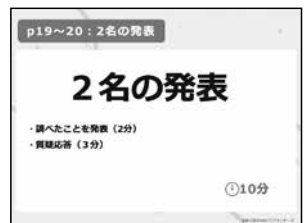
進路先に提出する志望動機／理由書では、進路先で何をやりたいかを書くことが必要不可欠です。

今まで調べてきたことと自分を結び付けながら志望動機／理由書を完成させていってください。

授業内で完成させることはできないと思いますので、次回の授業までに完成させてきてください。

次回の授業ではペアで志望動機／理由書に対してクリティカルシンキングをしていきます。

スライド



※NOLTYプランナーズ

授業 7：クリティカルシンキング

クリティカルシンキングを学びましょう。

授業の手引き

授業予定日	授業回数

準備物

指導書 授業用スライド 探究ノート PC やタブレット

授業のねらい

- ・クリティカルシンキングを用いて、自分の考えを深めていく

留意点

授業用スライドは NOLTY プランナーズのホームページ「導入校向けデータベース」よりダウンロードしてください。

生徒の様子や先生の想いに応じて授業用スライドは加工・編集が可能です。

ノートの各記入例は p35 以降にございます。

クリティカルシンキングでは、ペアで端末を交換して入力させてください。

授業の流れ

学習の内容	時間	探究ノートのページ
クリティカルシンキングとは	10分	就職希望者 p 26 進学希望者 p 33
ペアで クリティカルシンキング	20分	就職希望者 p 26～27 進学希望者 p 33～34
フィードバック後の意見交換	10分	就職希望者 p 27 進学希望者 p 34



本日の授業の内容はこのとおりです。



この授業では、クリティカルシンキング学び、それを実践していきます。まずクリティカルシンキングとは、一言でいうと、「ある考えに対してツッコミを考えていく方法」です。

特に、無意識的に当たり前として考えていたことを疑うときにこのクリティカルシンキングが役に立ちます。

例えば、「数学が苦手だから文系の道に進む」という考えがあった時、「文系でも数学的な考えを使ったりするのでは？」や「〇〇さんがやりたいことにマーケティングに近いから数学とか統計とか重要なのでは？」

というようなツッコミを入れていくことで、もとの考えを再度考えるきっかけになります。



実際の志望動機の例文を使ってツッコミを見てみましょう。

まずは就職編の志望動機とツッコミです。

①は、「働きながらただ仕事の経験を積むのであれば、どの会社でもいいのでは？」という考えからきているツッコミです。

②は、「どのように貢献したいのか？」が書かれていると、あなたを雇ったときの良いイメージを持つのではないかと、という考えからくるツッコミです。

③は、目標の原動力は何であるかを問うツッコミです。



次に進学編の志望理由書です。

①は、英語の先生を目指すために、その大学でなければいけない理由が書かれていないことへのツッコミです。

②は、書かれていることが楽しめないことに繋がらないので読み手が納得しないのではないかと、というツッコミです。

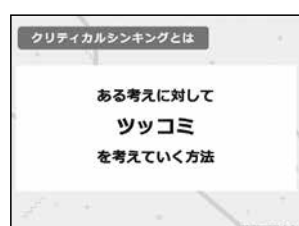
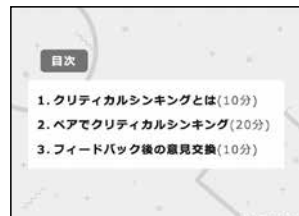


次にペアでクリティカルシンキングを行っていきます。

ペアと ICT 端末を交換して、まずは志望動機 / 理由書を読んでください。気になる文を最大引用して、それぞれの文に対してフィードバック（ツッコミ）を書いていってください。

フィードバックが批判的なものだけになってしまうとモチベーションが下がってしまいますので、まずはポジティブなコメント書き、そのあとにツッコミを書いてください。

スライド



20 分間このワークを行います。



それでは ICT 端末を返却してください。

返却後、ペアからのフィードバックを読み、まずはフィードバックを書いてくれたことに感謝の言葉を述べましょう。

その上で、志望動機 / 理由書に対する追加の説明をしてください。

その追加の説明は、志望動機 / 理由書に書いた方がよいものになるでしょう。

クリティカルシンキングを使って内容をブラッシュアップさせてください。

